

# 中山間の福祉、生活学ぶ 井原

川崎医福大生 高齢者と交流



民生委員の活動などを話題にした交流会

中山間地域の高齢者の暮らしぶりや地域福祉の実態などを学ぶと、川崎医療福祉大

(倉敷市)保健看護学部の学生が8日、井原市美星町星田、星の郷ふれあいセンターを訪

れ、同町地区の民生委員や高齢者と交流した。

主に保健師を志す3年生約30人が訪問し、同町側は約40人が参加。交流会では6人程度の班に分かれ、学生が民生委員から敬老会や赤ちゃん訪問といった活動についてヒアリングしたほか、高齢者に買い物や通院など日々の暮らしぶりを聴いていた。2チームに分かれたじゃんけん大会など学生の企画によるレクリエーションもあった。

美星地区民生児童委員協議会の川上伊佐夫会長「美星町宇戸」は「美星町の生活をしっかりと勉強してもらった。人の心にしっかりと寄り添える保健師になってもらいたい」と話していた。(岸本渉)